

中野市多目的サッカー場 完成



施設概要

名称：中野市多目的サッカー場

位置：西条116番地

全体面積：約20,000㎡

○内訳

グラウンド：約10,000㎡（人工芝）

サッカーコート：一般（105m×68m）1面、
ジュニア（68m×50m）2面

スタンドベンチ：480席

駐車場：約3,000㎡（124台）

管理棟：倉庫・トイレ

防球ネット：網目40mm、高さ10m

照明設備：照明塔8基（平均照度270ルクス）

その他：園路（450m×1.8m）

使用案内

使用可能時間 日の出から午後10時まで

※積雪のある冬季期間は除く

使用料金 下表のとおり

申し込み 指定管理者中野市体育協会（市民体育館の窓口）へお申し込みください。予約方法など、詳しくはお問い合わせください。



スタンドベンチ



管理棟

▼6月30日に行われたしゅん工式



来賓によるキックオフ

▼使用料金表

区	分	単位	市内		市外	
			使用料	照明料	使用料	照明料
競技場	全面	照明全灯	1,800円	2,000円	5,400円	2,000円
		照明半灯		1,000円		1,000円
	片面	照明全灯	900円	1,000円	2,700円	1,000円
		照明半灯		500円		500円
備品	放送施設	一式 1回	1,000円 (ワイヤレスマイク2本含む)			
	サッカー用具		500円 (コーナーフラッグ・得点板・テントなど)			

問い合わせ先

市役所文化スポーツ振興課施設管理係 ☎(22)21111(内線395) / 中野市体育協会 ☎(26)3572

6月市議会 定例会報告

条例

「中野市手数料条例」の一部改正

新しい在留管理制度が創設され、外国人登録法の廃止に併せて、住民基本台帳法が改

6月4日から19日までの16日間の会期で開催されました。

この議会では、条例案4件、予算案1件、事件案2件、人事案1件のあわせて8件が審議され、いずれも原案どおり可決となりました。

また、議員提案による意見書などについても審議されました。

主な内容をお知らせします。

所要の改正を行いました。
「中野市印鑑条例」の一部改正

新しい在留管理制度が創設され、外国人登録法の廃止に併せて、住民基本台帳法が改正されたことに伴い、外国人住民も住民票を作成することとなり、外国人登録原票登録者の印鑑登録に関する規定について整備するため、所要の改正を行いました。

補正予算

《一般会計》

平成24年度の一般会計予算に4585万余円を追加し、補正後の予算総額を、193億9297万円としました。

歳出の内容は次のとおりです。

《総務費》

●消費生活対策事務費で、放射性物質検査機器の貸与に伴い、検査体制の整備費で332万余円の追加

●地域活性化推進事業費で、一般コミュニティ助成事業の採択に伴い、10地区分助成金1980万円の増額

●スポーツ施設整備事業費で、多目的サッカー場整備工事費で636万余円の増額

《農林水産業費》

●市単農道整備事業費および市単かんがい排水事業費で、「地域発 元気づくり支援金」事業の採択に伴い、農道および水路補修用材料費、重機借上料で978万円の追加

《消防費》

●消防団運営事業費で、地域防災組織育成助成事業の採択に伴い、消防団員の災害出場、訓練出場時などに着用する上下雨衣を貸与するための助成金105万円の追加

《教育費》

●一般管理事務費で、少子化時代の学校教育のあり方を検討するため、学校適正規模等審議会の設置運営費で、52万余円の追加

●文化財保護・保存管理事業費で、柳沢遺跡からの出土品を譲り受けるため、展示保管施設の実施設設計および市指定文化財の雪害による応急処置費で242万余円の追加

●埋蔵文化財発掘調査事業費で、北陸新幹線関連工事に伴い、風巻遺跡発掘調査事業費で259万円の追加

契約

（仮称）中野市新みよし保育園建設工事（建築工事）請負契約

みよし保育園は、園舎建築

から50年を経過しようとしており、老朽化が著しいため、新みよし保育園の建築工事について、請負契約の締結について、議会の議決を得ました。

財産の取得

図書館情報システム機器の取得

図書館利用者の利便の向上を図るため、市立図書館などに設置している情報システム機器の更新に併せて、市立図書館と北部分館および西部分館とのネットワーク化を図り、利用者のサービスの向上に努めるため、新たにコンピュータ端末機を購入します。

人事

《人権擁護委員》

4人の委員の任期満了による次期委員の推薦依頼があったことに伴い、佐野茂委員については、引き続き同委員の候補者として、また、池田定榮委員の後任には、中山千恵子氏を、上野善久委員の後任には、佐藤みつ江氏を、森山伸子委員の後任には、瀧澤洋子氏を、新たに同委員の候補者として推薦することが適任と認められました。